

令和6年度 国民体育大会アーチェリー競技代表選手選考方法

平成25年第67国体より、全日本体育協会国民体育大会参加規程に追記の「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」(以下:アスリート申請)の適用事例が発生する場合は各項(ア)の規定に従って運用する。

〔1〕 代表選手選考

・当該年度に実施された4回の国体予選会成績の中から上位2回の合計得点をもとに、選考委員会で3名の正選手と1名の補欠選手を選考する。(同点の場合は10・X参照)

(ア)「アスリート申請適用者」が正選手に含まれる場合は、「アスリート申請」適用者を本国体代表選手として確定し、「アスリート申請」適用者を除く3名の選手を関東ブロック代表選手として選考し次席1名を補欠とする。

〔2〕 関東ブロック大会派遣選手

・3名の正選手を「神奈川県代表選手」として、当該年度の関東ブロック大会へ派遣する。

(ア)「アスリート申請適用者」が正選手に含まれる場合は、「アスリート申請」適用者を除く3名の選手を「神奈川県代表選手」として、当該年度の関東ブロック大会へ派遣する。

〔3〕 本国体派遣選手

・関東ブロック通過チームの3名の正選手を「神奈川県代表選手」として、当該年度の本大会へ派遣する。

(ア)「アスリート申請適用者」が正選手に含まれる場合は、「アスリート申請」適用者を含む3名の選手を「神奈川県代表選手」として当該年度の本国体へ派遣する。なお、本国体へ出場する「アスリート申請」適用者以外の選手は、当該年度の関東ブロック大会当日のWA70mラウンドの個人成績上位から順に選考する。

※上記の選考選手は、成年の部の補欠選手を除き、自動的に「競技力向上対策事業 国体選手強化事業」対象選手となる

〔4〕 自然災害等のやむを得ぬ理由で予選会が規定回数(4回)実施できなかった場合

- ・実施できた予選会の成績を用いてランキングを作成して選考する。
- ・全く実施できなかった場合は、前年度4月1日～当該年度の最終国体予選の実施予定日までのWA70mラウンドの成績をもとにランキングを作成して選考する。

〔5〕 自然災害等のやむを得ぬ理由でブロック大会が実施できなかった場合

国民体育大会開催基準要項第18項第3号に基づき、ブロック大会幹事県が中心となり、ブロックを構成する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体との協議により、決定するブロック代表枠の選考方法に従って決定する。

〔6〕 国民体育大会監督の選考に関して

以下の基準に従って、ブロック大会申込6月、本大会申込8月の理事会において決定する。

- ① 神奈川県アーチェリー協会理事会において承認を得た者。
- ② 当該年度に有効なスポーツ指導員の資格を有する者とする。
- ③ 年間化計画に記載の「ブロック大会」「本国体」に同行できる者。

- ④ 原則として、年間化計画に記載の「強化事業」に継続的に参加できる者を優先する。
- ⑤ 国体事業参加同意書を提出した者。

## 〔7〕 選手強化並びに Jr 強化事業対象選手選考に関して

※以下の全事業に関しては、国体事業参加同意書(前期・後期)の提出が必要です。

### 7-1 前期 強化対象期間 (6月~9月)

① 選考大会 第1回国体予選~第4回国体予選

② 令和6年度 選考基準

A. 国民体育大会関東ブロック大会県代表選手

- ・選考大会における上位2大会の合計ランキングにより、正選手3名と補欠1名を選考する。
- ・少年の部において、補欠選手が卒業学年の場合は、原則として強化事業への参加は認めない。

B. 前期 Jr 強化選手

- ・選考大会における上位2大会の合計ランキングより、国体選手を除く男女合計、最大16名を Jr 強化対象選手として選考する。

### 7-2 後期 強化対象期間 (10月~3月) 対象学齢は高校3年生未満とする

①選考大会

A 候補 関東選抜大会出場への申請点を利用したランキング

B 候補 登録初年度については、高校新人大会及び県新人大会のランキングにより選考する。

C 候補 令和6年度4月~令和6年2月の間の神奈川県内開催の70m ラウンド公認競技会における記録

※中学2・3年生は、上記期間中の神奈川県内開催の60m ラウンドの記録を申請に用いることが出来る。

②令和6年度 選考基準

選考基準 A 当該年度の関東選抜大会予選会で選考基準点以上を記録した者。

選考基準 B 高校新人大会及び県新人大会のベストスコアランキングにより、若干名を選考する。

選考基準 C 当該年度の関東選抜大会申請基準点以上を記録した者。

(同意書に公認競技会大会名とスコア記入して提出)

注) 合宿事業への参加者の選考は A~C の対象選手から県ア協会が開催する国体 Jr 強化練習会における記録を参考にして男女合計、最大16名以内を選考する。

注) 選考後も国体 Jr 強化練習会における記録が、著しく選考基準点を下回る事が連続した場合は対象選手の権利を失うことも有りうる。

## 〔8〕 問い合わせ先 メールにて以下の窓口にご連絡ください

NPO 法人神奈川県アーチェリー協会 国体部 川村 栄一

Gmail Kawamura\_eiichi\_gmail@ysh.ed.jp